

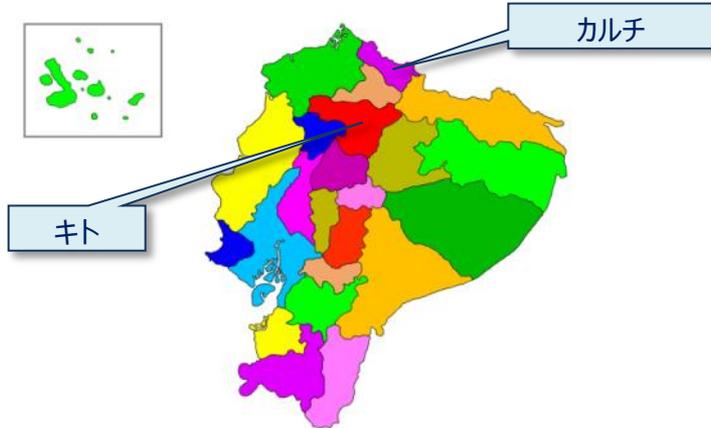
## 「サンタ・ルシア地区用水路改善計画」

供与額： 9,621,430円  
贈与契約締結日： 2015年1月26日

在エクアドル日本国大使館において、平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「サンタ・ルシア地区用水路改善計画」のための、当館とカルチ県による贈与契約署名式が行なわれました。

カルチ県ミラ市サンタ・ルシア地区住民は近年の降水量の減少により、雨水による作物・牧草栽培が困難なため、1980年に地域住民の労働奉仕によって灌漑設備を建設しました。しかし、取水する水源から既存貯水池へ導水するための用水路は手掘りの開水路のため、貯水池に届くまでに約4割の水量が地中に浸透してしまい、同地区の要灌漑面積計120ヘクタールに対し、既存設備による灌漑面積は87ヘクタールしかありません。また、本件対象の用水路は斜面にあるため水路の形成・保護が難しく、雨季になると毎年のように氾濫が起きています。その都度、地区住民自らが置石などで修復を繰り返していますが経済的損害及び住民の負担は大きく、管水路式用水路の建設による抜本的な解決が求められています。

本計画は、前述の地区において用水路一式を設置することにより、灌漑用水が取水から貯水池まで無駄なく届き、対象地区の約120ヘクタールの土地が給水され、農業生産の安定化及び向上に貢献しようとするものです。



### 計画実施前



### 署名式

